○関東・中部地方の地震活動

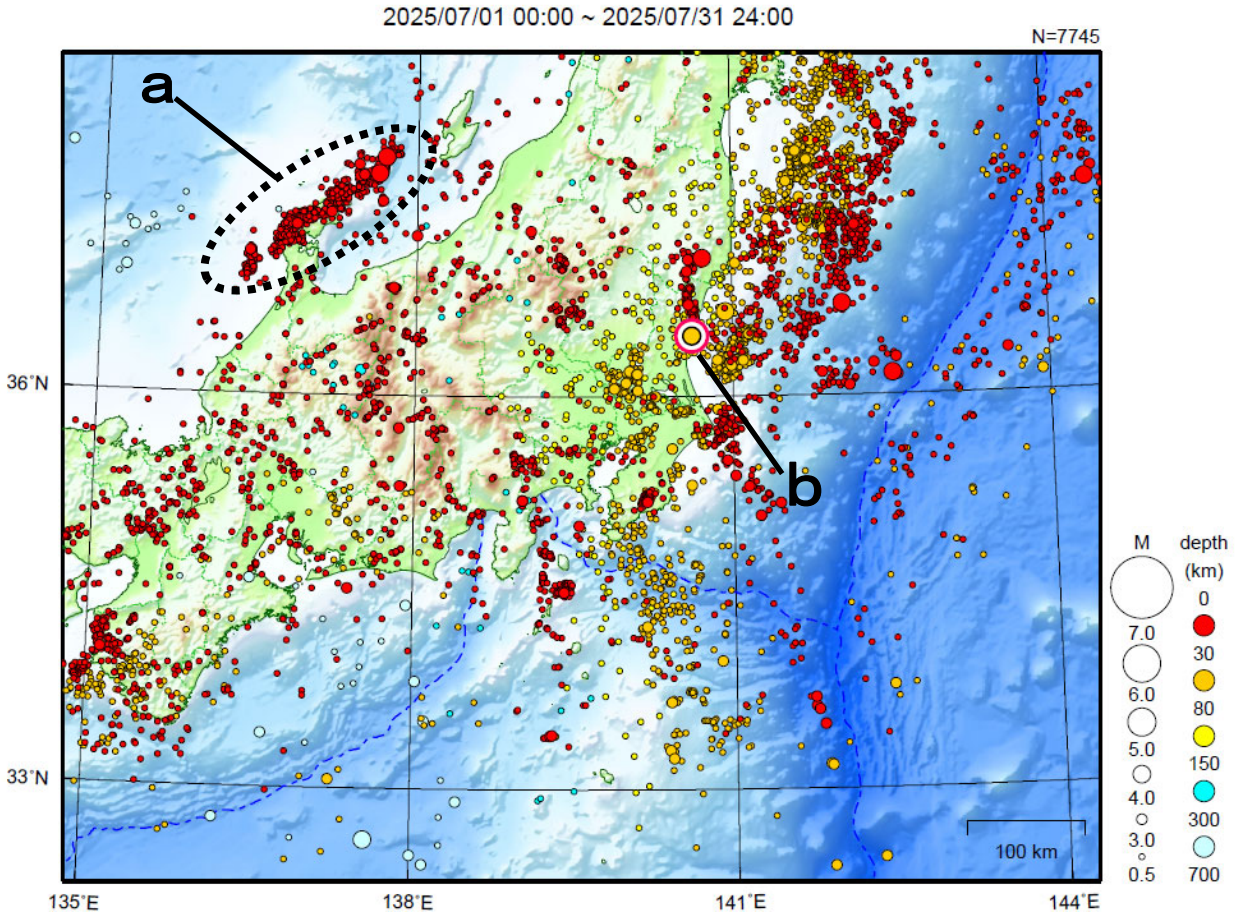

図７　関東・中部地方の震央分布図（2025 年７月１日～７月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

７月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度１以上を観測した地震は 53 回（６月は 54 回）であった。

７月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

a　「令和６年能登半島地震」の地震活動域では、７月中に震度１以上を観測した地震が６回（震度１：６回）発生した。このうち最大規模の地震は、１日 18 時 46 分に新潟県上越沖の深さ 18 kmで発生した M4.2 の地震で、石川県及び新潟県で震度１を観測した（ｐ.10、11 参照）。

b　15 日 23 時 47 分に茨城県北部の深さ 56km で M4.9 の地震が発生した。この地震により茨城県笠間市及び栃木県市貝町で震度４を観測したほか、関東甲信地方、東北南部、静岡県及び新潟県で震度３～１を観測した（ｐ．４、12 参照）。

（図の範囲外）

30 日 08 時 24 分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖で Mw8.8 の地震（Mw は気象庁による）が発生した。この地震により、岩手県の久慈港（注）で 1.4m（速報値）など、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した（p.71～84 参照）。

関東・中部地方では、茨城県の神栖市鹿島港（注）と東京都の八重根で 0.8m（いずれも速報値）など、茨城県から三重県及び、伊豆諸島から小笠原諸島にかけて津波を観測した。

（注）国土交通省港湾局の観測施設